

【想定最大規模】

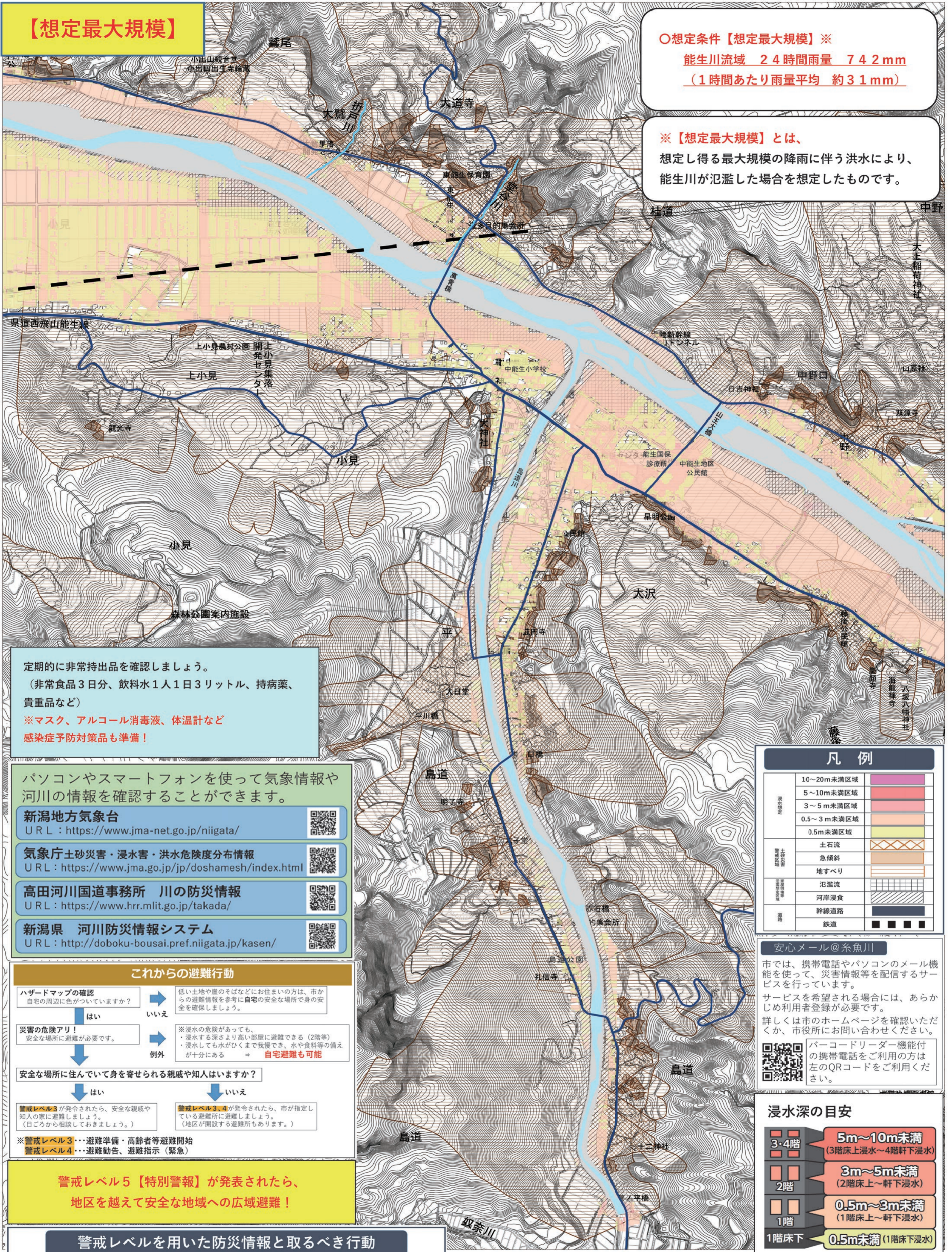
○想定条件【想定最大規模】※

能生川流域 24時間雨量 742mm

(1時間あたり雨量平均 約31mm)

※【想定最大規模】とは、

想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により、能生川が氾濫した場合を想定したものです。



定期的に非常持出品を確認しましょう。
(非常食品3日分、飲料水1人1日3リットル、持病薬、貴重品など)
※マスク、アルコール消毒液、体温計など
感染症予防対策品も準備!

パソコンやスマートフォンを使って気象情報や河川の情報を確認することができます。

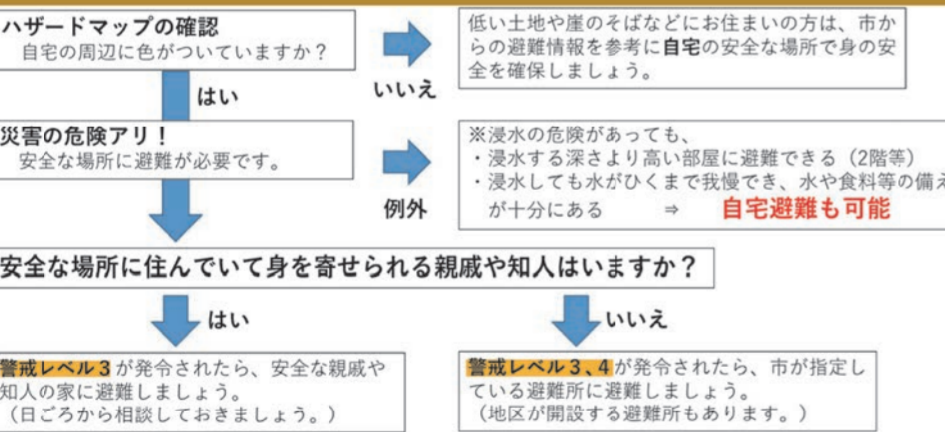
新潟地方気象台
URL: <https://www.jma-net.go.jp/niigata/>

気象庁土砂災害・浸水害・洪水危険度分布情報
URL: <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/index.html>

高田河川国道事務所 川の防災情報
URL: <https://www.hrr.mlit.go.jp/takada/>

新潟県 河川防災情報システム
URL: <http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen/>

これからの避難行動



警戒レベル5【特別警報】が発令されたら、地区を越えて安全な地域への広域避難!

警戒レベルを用いた防災情報と取るべき行動

災害発生の危険度を直感的に理解し、的確に避難行動が取れるよう『5段階の警戒レベル』を用いて防災情報をお知らせします。

警戒レベル	市からの情報	取るべき行動	注意報・警報等	情報の種類
5	災害発生情報	命を守るための最善の行動をとる	特別警報	大雨、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
4	避難指示(緊急) 避難勧告	安全な場所へ速やかに避難	警戒情報 危険情報	土砂災害警戒情報、氾濫危険情報
3	避難準備・高齢者等避難開始	避難準備が整い次第避難開始 高齢者等は速やかに避難	警報	大雨、洪水、大雪、暴風、暴風雪、波浪、高潮
2	気象情報等への注意喚起など	ハザードマップ等で避難行動を確認	注意報	大雨、洪水、大雪、強風、風雪、波浪、高潮、雷、濃霧、乾燥、なだれ、着水、着雪、融雪、霜、低温
1	気象情報等への注意喚起など	災害への心構えを高める	早期注意情報(警報級の可能性)	

凡例

浸水想定	10~20m未満区域	
	5~10m未満区域	
	3~5m未満区域	
	0.5~3m未満区域	
	0.5m未満区域	
土砂災害警戒	土石流	
	急傾斜	
	地すべり	
河川浸水	氾濫流	
	河岸浸食	
道路	幹線道路	
	鉄道	

安心メール@糸魚川

市では、携帯電話やパソコンのメール機能を使って、災害情報等を配信するサービスを行っています。
サービス希望される場合には、あらかじめ利用者登録が必要です。
詳しくは市のホームページを確認いただくか、市役所にお問い合わせください。

バーコードリーダー機能付の携帯電話をご利用の方は左のQRコードをご利用ください。

浸水深の目安

3~4階	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

浸水想定ごとの避難行動の目安。お住いの地区は何色ですか?

区域の色	お住まい	冠水・浸水前	冠水・浸水後
5~10m 一般住宅は水没	平屋建 2階建	《自宅待機×》 2階まで浸水するおそれがあります。 浸水被害が始まる前に避難してください。	《自宅待機×》 冠水、浸水が始まってから避難することは困難です。 必ず早めの避難行動をとってください。
3~5m 2階以上浸水	平屋建 2階建	《自宅待機△》 床下や1階が浸水するおそれがあります。安全が確保できる場合は屋内待機することもできます。	《自宅待機○》 浸水発生後は無理をせず大切なものは2階へ上げて待機しましょう。
0.5~3m 床上浸水	平屋建		
0~0.5m 床下浸水	2階建		